

米こめ大作戦通信

まとめ号
平成 22 年
(12 月発行)

周南市大田原自然の家

半年間お疲れ様でした。

気がつけばもう 12 月、各地で雪の便りが届く季節となりました。これから春の田植え時までは田んぼも一休みです。この間にすき込んだ稲ワラがゆっくりと分解して土の栄養になっていきます。

私たちが皆さんと一緒に体験したこの半年を振り返り、お米のこと、里山のこと、失われていく先人の智恵などをじっくりと見つめ直したいものです。

活動の様子を振り返りましょう



5 月 29 日 田植え体験

約半年間皆さんとお米作りを通して農山村の自然や食べること、昔からの智恵や技と一緒に体験しました。

参加家族が少ない分皆さんにはいろんな場面で協力していただきました。感謝！



腰をかがめて線の上に丁寧に苗を植える作業は思ったより大変だったと思います。今はほとんどの農家は機械で植えますが、ちょっと前まではみんな手植えでした。限られた期間に済ますには家族総出だったり、ご近所と助けあったり、大きな農家は田植え時期だけ人を雇ったりしたそうです。



6 月 26 日 草取り・里山探検



田植えから約一月。小さな草が稲の間にたくさん生えていました。草取りは子ども達にはつまらない作業でした。小さいうちにとらないと後が大変です。子ども達は水路での水遊びが楽しそうでした。

あいにくのお天気で予定の生き物探しは出来ませんでした。里山探検で田んぼの水はどこからやって来るのか「水源探し」をしました。荒れた棚田の跡や、雪や風で倒れ放置された杉の大木にちょっとだけ寂しい思いをしました。また、田んぼの石垣の大きな石を機械もない時代にどうやって積んだのかと先人の苦労に思いを馳せる探検となりました。子ども達も倒木をまたいだり、ズルズル滑る坂道を歩いたりしました。途中で引き返すほど荒れた里山の現状はここだけの問題ではないようです。



7月17日 草取り・おやつ作り・川遊び

取っても取っても生えてくる雑草に農作業の大変さを実感されたことと思います。また、田んぼの中だけでなく周りのアゼ草を刈ることも大事な仕事です。日当たりや風通しを良くし害虫の棲家にならないようする為ですが、今回のようにカマで刈る人は今はいません。カヤで手を切ったりする体験はひょっとして初めてでしたか？

おやつに柏餅を作りました。材料のほとんどが地元産です。皆でお湯を沸かしたりサルトリイバラの葉っぱを取りに行ったりしました。ガスや電気が無くても田舎では燃料も自給できるんです。ちょっと手間はかかりますが自然の恵みを実感するひと時でした。

午後の川遊びは涼しくて気持ち良かったですね。急流に挑んだり、魚切の滝に驚いたり…。

10月16日 稲刈り・ハゼ作り・里山探検



子ども達も一生懸命作業していましたね。

お疲れ様！

ようやく稲刈りにこぎ着けました。大豊作とはいきませんでした。たった2本の苗が10倍にも増え、黄金色の穂をつけているのをみると皆さんの手入れのお陰と何よりも自然の恵みに感謝です。

子ども達も今回ばかりはカマを片手に最後まで飽きずに頑張りましたね。ハゼ作りも子ども達がサオや杭を頑張って運んでくれて大助かりでした。

ところで今年は猛暑で山に野生動物たちの食べ物が少なかったからとも言われていますが、サルやイノシシの被害をよく耳にしました。「米こめ～」の田んぼにもイノシシが出没し稲を踏み荒らしてしまいました。年々増える被害に農家の方は頭を悩ませています。耕作放棄の原因に「野生動物の被害」が上位に挙げられています。皆さんは何故これほど増えたと思いますか？

10月30日 脱穀・もみすり体験・おやつ作り



昔の道具で脱穀。大変だ～

危ないから子どもは見るだけ！



もみすり体験
真剣でした。

いよいよ脱穀です。はじめに「千歯こき」の体験でした。力がいるし少しづつしか出来ません。それにワラが沢山混ざるし…。次が回転式の「足踏み脱穀機」これは画期的！と感じられたと思います。随分効率が良くなっています。今の機械の原点です。最後にハーベスターの登場です。エンジンの力であっという間に終わりました。現在はコンバインが収穫、脱穀の主流ですが、効率が良くなる反面お金（機械代）や危険度も増します。

11月13日 ミニ収穫祭（ご飯炊き・餅つき）



いよいよ最終回となりました。自分たちで作ったお米で準備します。今回は家族ごとに責任をもって食事や餅つきの準備を進めてもらいます。もちろん子ども達が主役です。野菜も頑張って切りました。お母さんはヒヤヒヤ！

Kファミリーにはお餅つき用のお湯を沸かしていただきました。火を着けるのも水の補充もお任せです。



火が着くかな？



お湯が減ったら足して



火を着けるのは任せて



どんなもんだい！



Sファミリーには豚汁の火加減を責任もってみていただきました。ちゃんとマッチもすれました。美味しかったです。

Yファミリーにはご飯炊きをお願いしました。火加減はバッチリで焦げずに美味しく炊けました。お父さんが大活躍でした。



焦げてないかな？



柔らかいのは水加減のせいです



重い！！



何だか「まったりとした」いい風景

全員集合



10月16日のみなさんの声より



天候にも恵まれてとても充実した一日でした。
田植えにくらべて収穫するのはとても楽しかったです。
あともう少しで米になるのが楽しみです。

稲刈り体験は初めてでしたが収穫の喜びと作業の大変さが経験できたのは大変良かったと思います。
昼からの散歩（里山探検）では山村の荒廃と昔の人の偉大さ（狭い山の上にも田畑を作っていたこと）をあらためて感じさせられました。

稲刈りより、その後たばねたり、干したりという作業のほうが意外に大変で、やってみないとわからないなと思います。
体験程度の作業だったのでそれほど大変ではなかったですが、昔の人はこの何倍も作業をやっていたので米作りは本当に大変な作業だったと思います。

稲刈りは大変だったけど楽しかったです。
昼食は体に良さそうな感じでもとても美味しかったです。



10月30日のみなさんの声より

古くからの稲作道具の返還が労働力をかけないための智恵から発達したと感じた。良い経験が出来た。



米作りの最終段階で千歯こき等初めて使った道具がありました。脱穀↓米つき、精米まで最初から長い工程をふむことがわかり、あらためて昔の人の偉大さとお米の大切さを認識することができました。おやつづくりも子どもがまきを割ったりと初めての経験ができ、良い思い出です。

お米になるまでとても大変な作業がある事を実際に体験できて良かったと思います。
また、日頃は危ないことは子どもにやらせないようにしているけど、今日みたいにまき割りや火をつけるというような体験も子どもにさせてやれて良かったです。



何とか天気ももってくれて無事今日の仕事を終えることが出来て安心しました。
次回で最後になります。が、何とかここまで出来たのはオニイサンのおかげだと思います。
今までいろんな体験を子ども達にさせていたいただきありがとうございます。
次回は最後なので子ども達は今までしてきたことを生かせるようがんばってほしいものです。



最終回のみなさんの声より



いつも楽しかったです。始める前まではやるのがたくさんあって大変だなと思っていましたが、実際やってみるとそうでもありませんでした。本当にありがとうございました。

田植え、草取りと行わせていただき、少し農家の方の苦労がわかった気がします。米作り以外の里山探検などのプログラムがとても心に残ります。
「米こめ通信」毎号楽しみに読ませていただきました。

全日程を参加出来て本当に良かったです。
オニイサンには毎回色々なことを体験させていただいてありがとうございました。子どもと一緒に成長させていだいた気がします。
これからも体に気をつけてがんばってください。本当にありがとうございました。



今まで娘がまだ歩けなかったのが手が離せなくまわりの方に迷惑をかけたばなしでしたが、少し歩けるようになったので今日参加したのですが結局今回も何もできませんでした。すみません。でも、とても楽しかったです。ありがとうございました。



最終回もお蔭様で無事終わりました。自分たちで作ったお米を食べた時の気分はいかがでしたか？ Mさん家族のお休みに全員集合はかないませんでした。でもお餅つきの時など「きれいなお餅はMさんに届けようね」と皆さんがおっしゃっている姿を見て、この事業を通してお米作りや田舎の生活も体験されましたが、皆さんとの「ふれあい」や「出会い」も大きな成果だったのかな。と思いました。半年間ありがとうございました。

オニイサン

後日の感想より

今回参加し、米作りの一端に触れさせていただいて、いままで日本人に受け継がれてきた稲作文化は、本当に、先人の知恵の結晶ということを実感しました。たった一つの作物を作ることには注がれた知恵と時間と情熱を思うと、本当に食べ物を作るといふことは大変なことなのだと思います。

最近、食べ物にこだわる人が多く、無農薬や、オーガニックという言葉ばかり一人歩きしています。私もその一人で、野菜や玄米は、無農薬の物を購入しています。もちろん悪いことではないと思いますが、無農薬で作る事の大変さも知らずに、やみくもに食べ物にこだわることは、とても傲慢なことではないかと感じました。

ひとつの食べ物を作るといふことは、そしてそれが日本人を支えてきた主食であればなおさら、本当に尊いことだと思いました。

幼い時からほとんど毎食食べてきて、最も身近な食物なのに、お米のことを私はほとんど、何も知りませんでした。そしてそのこと何の疑問に思うこともなく今まで生きてきました。それが日本の教育です。そしてその結果が、今の日本であり、子供達の姿なのでしょう。私も、今回の経験がなければ、米つくりの大切さに思い至ることはなかったと思います。息子も幼いので、米つくりのことがどこまで伝わったかは、分かりません。ただ、私も今回教えていただいたことを、少しでもこれから、折に触れて話していきたいと思っています。

最後になりましたが、いつも私達の為に、毎回心を砕いて準備をして頂きました、担当者の方に心からお礼を申し上げます。米のことだけでなく、里山のことなど、いつも色々なことを教えていただきました。おかげで、毎回とても楽しく過ごすことができました。本当にありがとうございます。

他の参加者の方にも感謝の気持ちでいっぱいです。今回のメンバーに入れて、とてもラッキーだったと思います。

伝統的な米づくりを体験でき、学べる場所は多くありません。是非、これからこのプログラムが長く続いて、一人でも多くの方が米づくりを通して、自分の見ている世界が広がっていく感動を味わうことができるといいな、と思います。



「米こめ大作戦」に参加して米作りはもちろんのこと、田んぼの生き物観察や里山の探検など米作りの環境を教えていただいたことが興味深かったです。

特に荒れていく里山の様子から農業を取り巻く環境の厳しさを痛感しました。

子ども達にはまだ理解は難しいとは思いますが、折に触れ一緒に考えていきたいです。

子どもだけでなく大人にも様々な体験させて頂き、一緒に活動させて頂いた皆さんに深く感謝しています。

お世話になりました。ありがとうございました。

今「米こめ大作戦」には結局都合3回程度しか参加できなかった事が自分としても不本意であり、担当者の方をはじめ周囲の方々にご迷惑をお掛けしたものと非常に申し訳なく思っております。

ただ、米作りという時間のかかる、また大変な労苦を伴う作業の一端でも経験することで、子供のみならず親である我々も平素普通に食卓に上るお米がいかに貴重なものであるのかを再認識させていただき、とってもいい体験ができたと思っております。

また、子供にとっても大自然の中みんなで共同作業を行い、自然の恵みである野菜、お米等を美味しく頂いたことがとってもいい経験になったようで、ともすれば「大田原、大田原」というようにとっても印象に残ったようです。

時代の変遷と共にどんどんと失われていく自然や昔から伝わるものが非常に惜しまれると私は常々思っていますが、そのような思いを事業に参加することで大自然の美しさ・厳しさや昔の人々の労苦を感じることができ、とても意義深い参加だったと感謝しています。

また、子供もこの経験を通じ食べ物の大切さ、自然の美しさや恵みのありがたさをいつも意識できたものと思っています。

最後になりますが、関係各位の行事開催に伴う準備作業等に対しあらためて感謝いたしたく、この場を借りて御礼申し上げます。

これからもより自然に親しめるよう、家族そろっていろんな主催事業に参加しようと思っておりますので、宜しくお願い致します。大変お世話になり、ありがとうございました。



今回「米こめ大作戦」に参加させて頂いて、とてもいい方たちとい時間をご過ごすことが出来ました。

息子に「明日は大田原に行く日だよ」と言うとても楽しみにしていました。最初の頃は田植えや草取りの仕事が大変でした。

でも、稲の成長を見ていくうちにだんだん楽しくなり、収穫の時はとても充実した気持ちになりました。

娘の唯も5月に始まった頃はベビーカーに乗っていましたが、今では歩けるようになり、先日はみなさんと一緒に作ったごはんを食べれるようになりました。

なんとか全ての日程をこなし無事に終わることが出来てなんともいえない達成感と、もうおわってしまったというさびしい思いがあります。

子供と一緒に何か一つの事をやりとげたのは、自分自身初めての事でした。米作り以外にも色々な体験をさせていただきました。その中でも夏の暑い日に川に行っって滝を見たのはとても感激しました。

この企画にご一緒下さったすべての皆様に感謝します。またどこかで会える日を楽しみにしています。

最後になりましたが「おにいさん」へこれから寒くなりますが体に気をつけてこれからもがんばってください。本当にお世話になりました。